

学習指導要領(抄)(小学校・中学校平成29年3月告示 高等学校平成30年3月告示)

前文

(前略)

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、**社会に開かれた教育課程**の実現が重要となる。

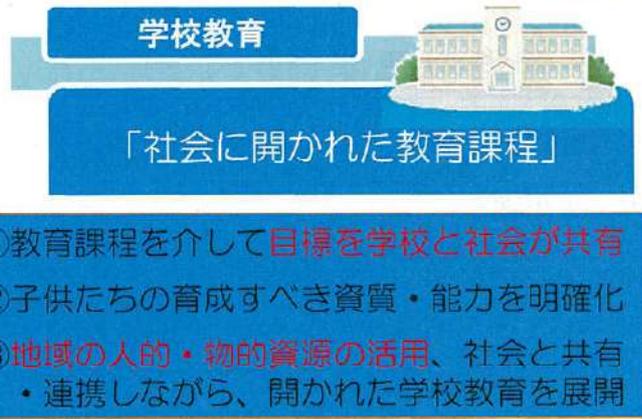
(中略)

児童(生徒)が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から児童(生徒)や学校に関わる**全ての大人**に期待される役割である。

20

2. 地域と学校の連携・協働について ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～

2. 地域と学校の連携・協働について ー背景



これまでの学校で？
 これまでの地域で？
 それぞれで？
 5年後、10年後、その先は？

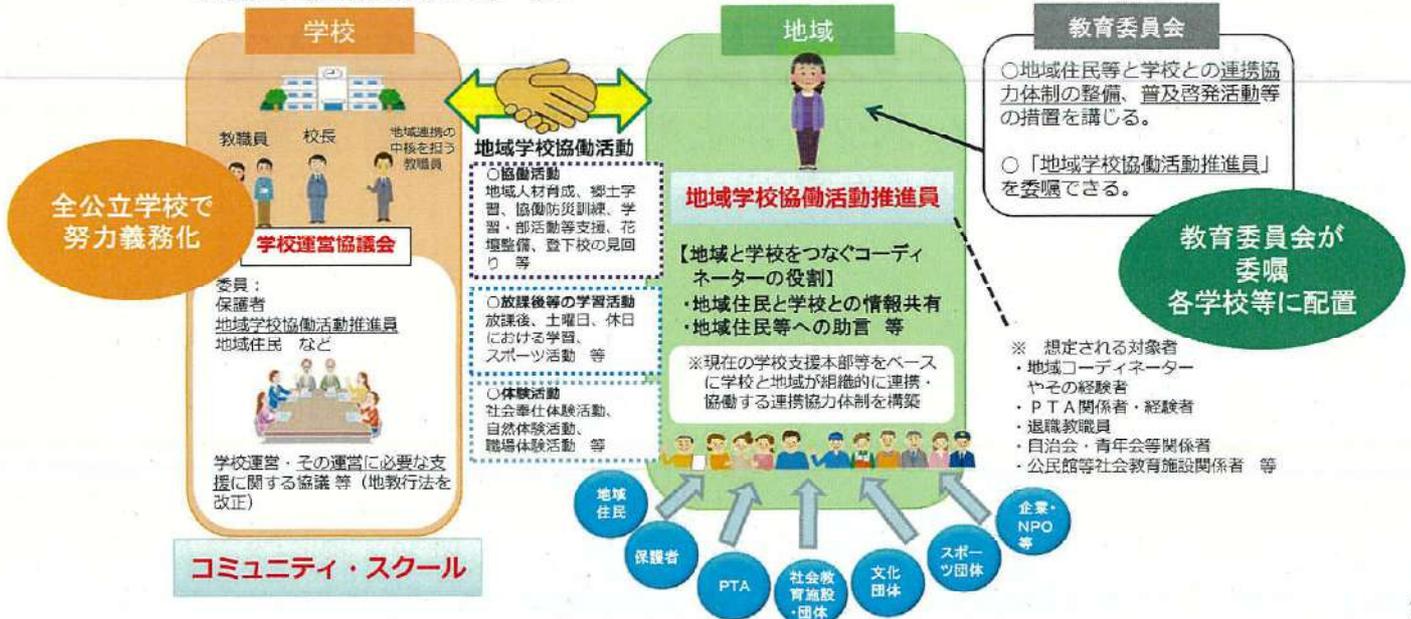
2. 地域と学校の連携・協働について ー背景

地域と学校の協働体制の構築に向けた法改正（地教行法、社教法）

改正の概要（平成29年4月施行）

平成27年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、**地方教育行政の組織及び運営に関する法律**を改正し、各教育委員会に、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みである**学校運営協議会の設置を努力義務化**。また、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する「**地域学校協働活動**」を全国的に推進するため、**社会教育法**を改正し、同活動に関する連携協力体制の整備や「**地域学校協働活動推進員**」に関する規定を整備。これらにより、幅広い地域住民等の参画を得て、**社会総掛かり**での教育を実現し、**地域を活性化**。

<地域と学校の協働体制のイメージ>



うちの学校は「**地域に信頼される学校**」を目指しており、地域の方にどんどん学校に入っただいただいています。

「**地域に開かれた学校**」であり、地域と連携した取組はうまくいっています。

コミュニティ・スクールと言わなくても・・・

見守り隊

防災訓練

読み聞かせ

学校評議員制度もありますし・・・

地域学習

職場体験
インターン

地域清掃



地域に開かれた学校
地域に信頼される学校



地域とともにある学校づくり

学校と地域が「目標やビジョン」を共有し、社会総掛かりで子供たちを育む学校づくり

~~協働~~
||
協力して働くこと

➔ **協働**： 立場の異なる人たちが、**同じ目的**のために（目標に向けて）**対等の立場**で協力して共に働く（人として動く）こと

子供たちをめぐる課題【例：携帯電話】



最近、街中で携帯電話に夢中になる子供たちが多く、危なっかしい。また、事件に巻き込まれたというニュースもよく聞かすが、学校は**携帯電話の使用を制限できないのか**？

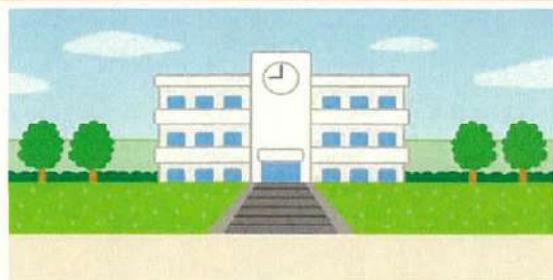
学校や地域の課題

最近、全国の小中学生が被害にあういろいろな事件が起きています。通学路に家がありません、暗いので、安全のために娘に**携帯電話を持たせたいのですが**？



2. 地域と学校の連携・協働について ー目標の違い

地域と学校はそれぞれ「**第三者**」の立場であり、**バラバラな目標**に向かうことがある



「**依頼**」⇔「**支援**」の関係になっていないか？

28

2. 地域と学校の連携・協働について ー支援から連携・協働へ

地域連携＝「貸し借り」になっていませんか？

【地域の方】

今度、地域の清掃活動があるので学校からも手伝いに来てほしい。

【学校】

この前、花壇の整備を手伝ってもらったから、行かないと悪いな・・・



前年度踏襲

新たな取組

人手不足

「課題・目標・ビジョン」の**共有**が不十分・・・

29

「貸し借り」

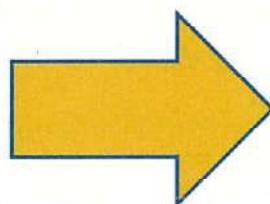
差があると感じられると不平・不満につながる

こんなにやってあげているのに、なんでやってくれないのか！



30

地域と学校はお互いに子供たちの教育に関する「当事者」となり、「共通の目標」に向かう必要がある



共通の目標

31

2. 地域と学校の連携・協働について ー支援から連携・協働へ

「支援」から「連携・協働」への意味が正しく理解されていないのではないか？

地域による学校を「支援」する一方的な活動から、地域と学校が目標を共有して行う双方向の「連携・協働」型の活動の充実に向けて、例えば、子供たちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民とともに地域課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった取組を推進していくことが重要。

(文部科学省「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」より)



「学校を支援する活動」= × 地域学校協働活動ではない

「地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民とともに地域課題を解決したり、地域の行事に参画して地域づくりに関わる活動」
= ○ 地域学校協働活動

と思いませんか？

32

2. 地域と学校の連携・協働について ー支援から連携・協働へ

例) 学校支援活動(学校環境整備)



① PTA活動の一環として、特定の保護者に割り当てられ、行っている。

➡ なぜしなければならないか理解できていないし、やらされ感、強制感が発生。

② 校長先生にお願いされてコーディネーターが中心となって呼びかけ、地域住民(保護者含む)有志が行っている。

➡ やらされ感はない(少ない)が、頼まれただけで、なぜしなければならないか理解できていない。(貸し借りの関係)

③ 学校運営協議会で学校の状況なども把握した上で、地域で何ができるか議論した結果、コーディネーターが中心となって呼びかけ、地域住民(保護者含む)有志が行っている。

➡ 参加した地域住民等もなぜしなければならないか理解し、その上で主体的に参加。

同じ活動でもそのプロセスが共有されているかどうかで、「支援」にも「協働」にもなりうる。

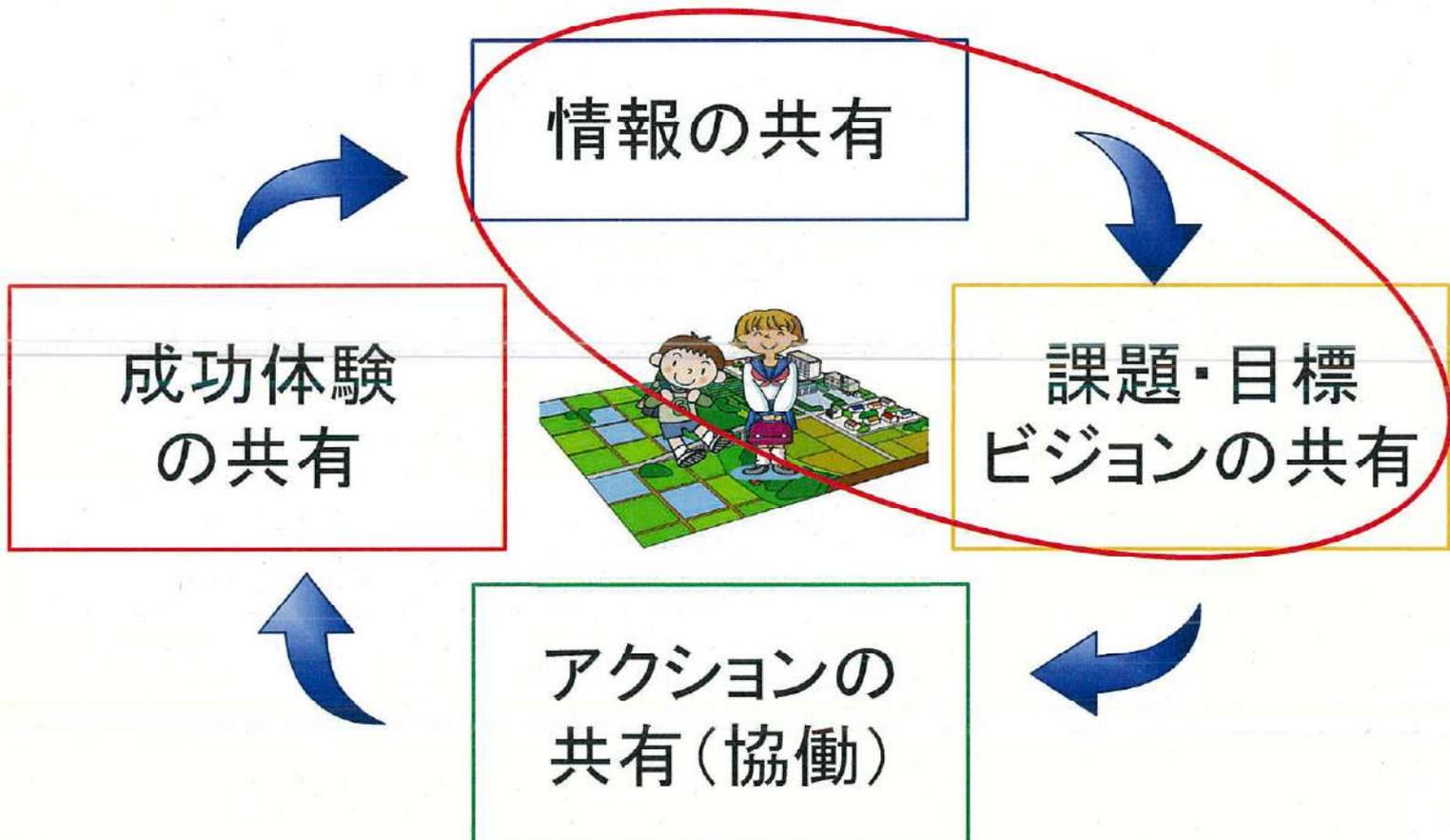
33

大切なのは・・・。

地域と学校が目標を共有して行う双方向の「連携・協働」型の活動

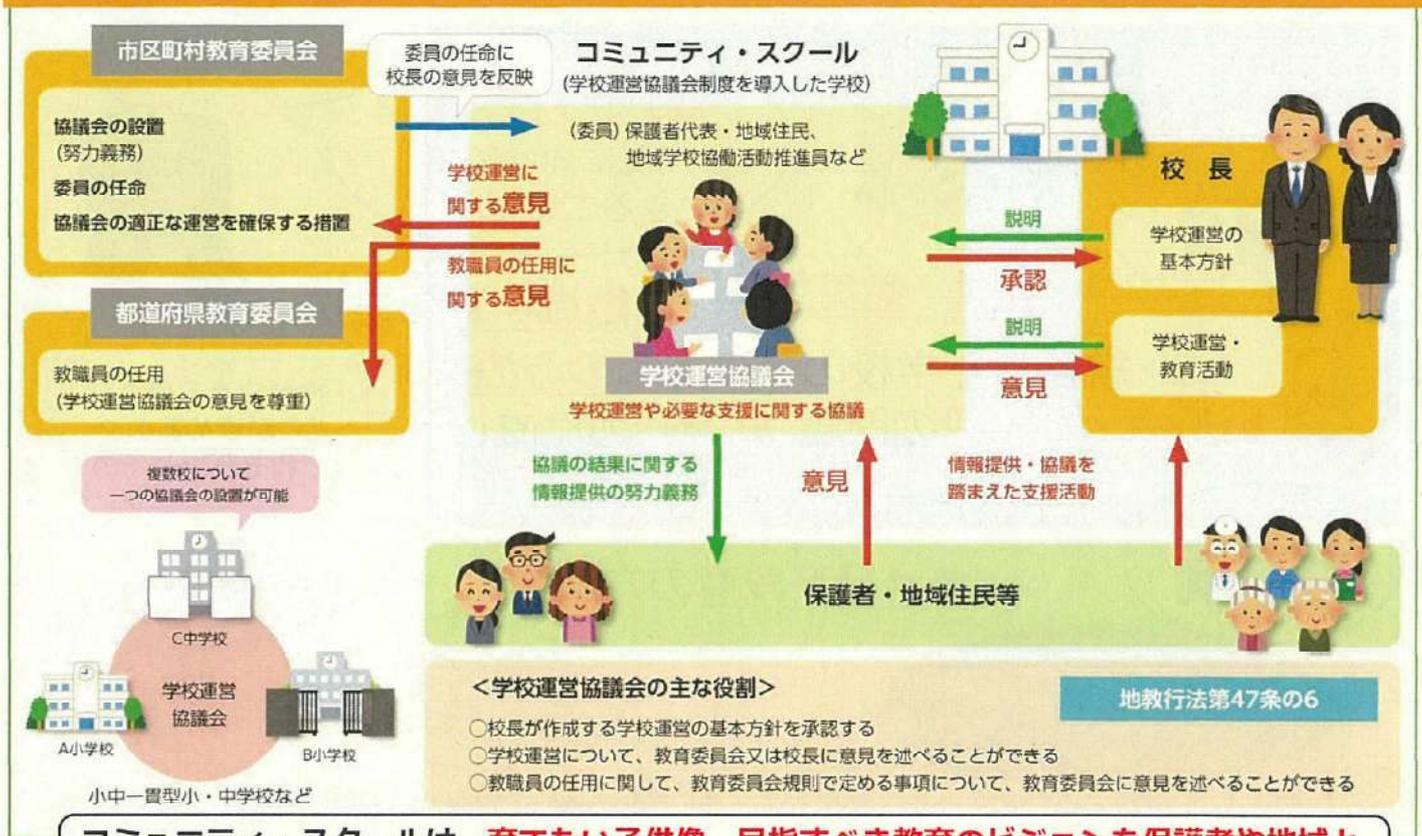


頼まれたからやるのではなく、地域と学校との間で「なぜこの活動を行うのか」が共有されていればその活動は立派な「地域学校協働活動」



2. 地域と学校の連携・協働について -コミュニティ・スクール-

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



コミュニティ・スクールは、**育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けてともに協働していく仕組み。**

36

2. 地域と学校の連携・協働について -コミュニティ・スクール-

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のこと。

⇒「学校運営協議会制度」は、次の法律に基づく制度で、主に3つの機能を持つ。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の6】 H29.3改正

教育委員会は、学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として学校運営協議会を置くように努めなければならない

- 校長が作成する学校運営の**基本方針の承認**をすること(必須)
- 学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができること
- 教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができること

合議体

個人の意見を尊重

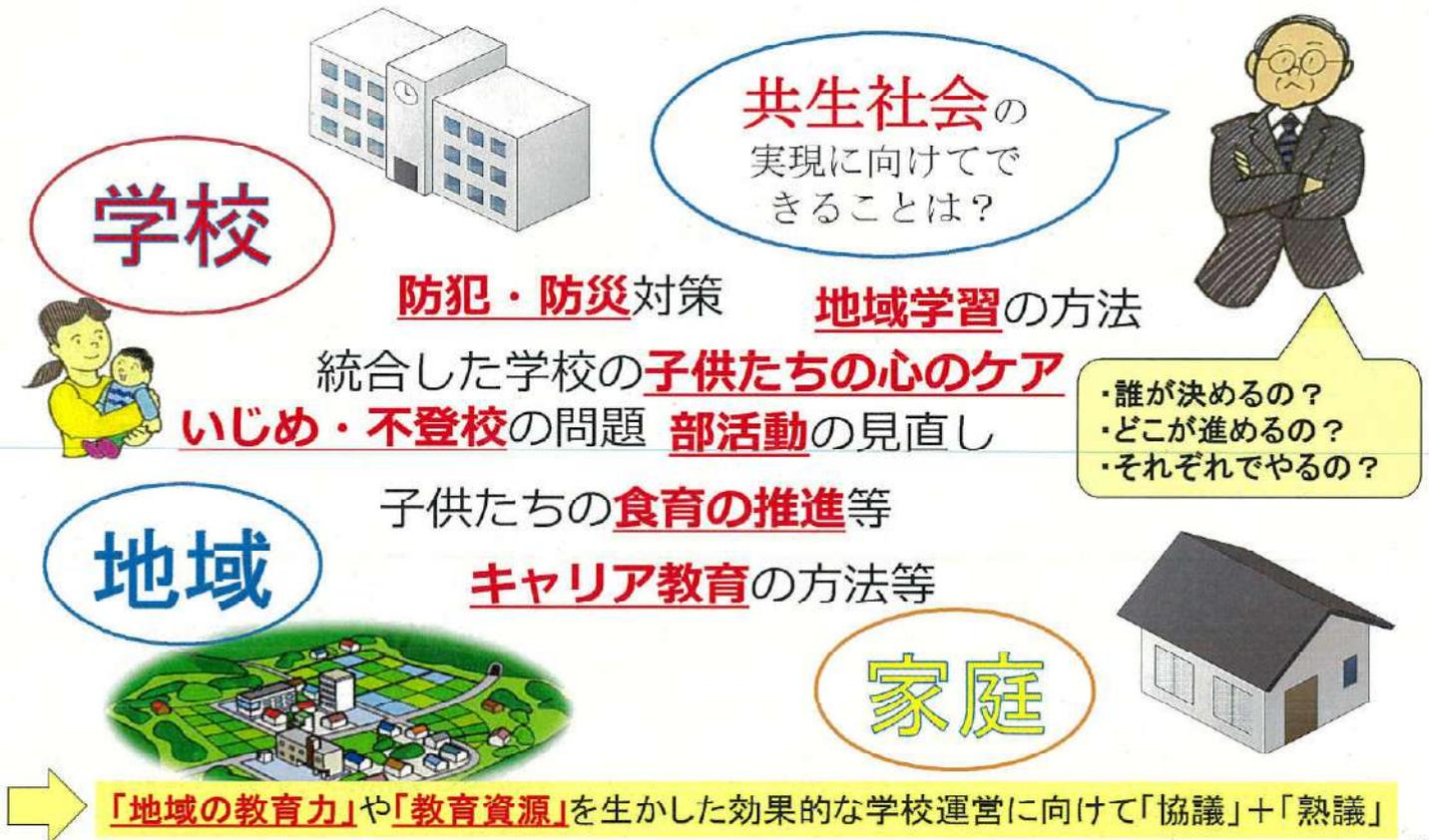
教育委員会の下部組織

委員は特別職の非常勤公務員

37

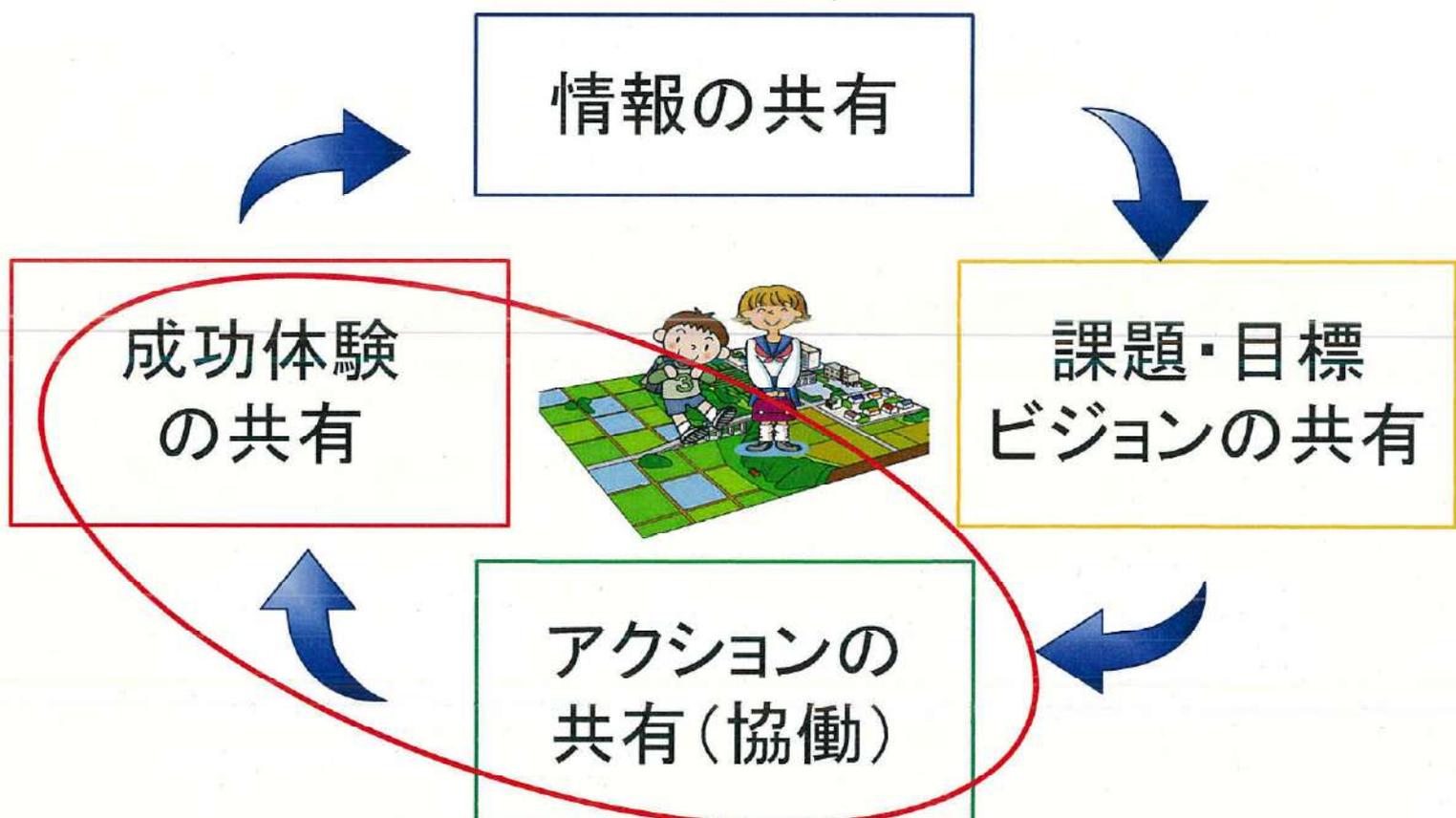
2. 地域と学校の連携・協働について —コミュニティ・スクール

複雑化・困難化した課題への対応(学校運営協議会で議論される内容の一例)



38

2. 地域と学校の連携・協働について —共有のスパイラル



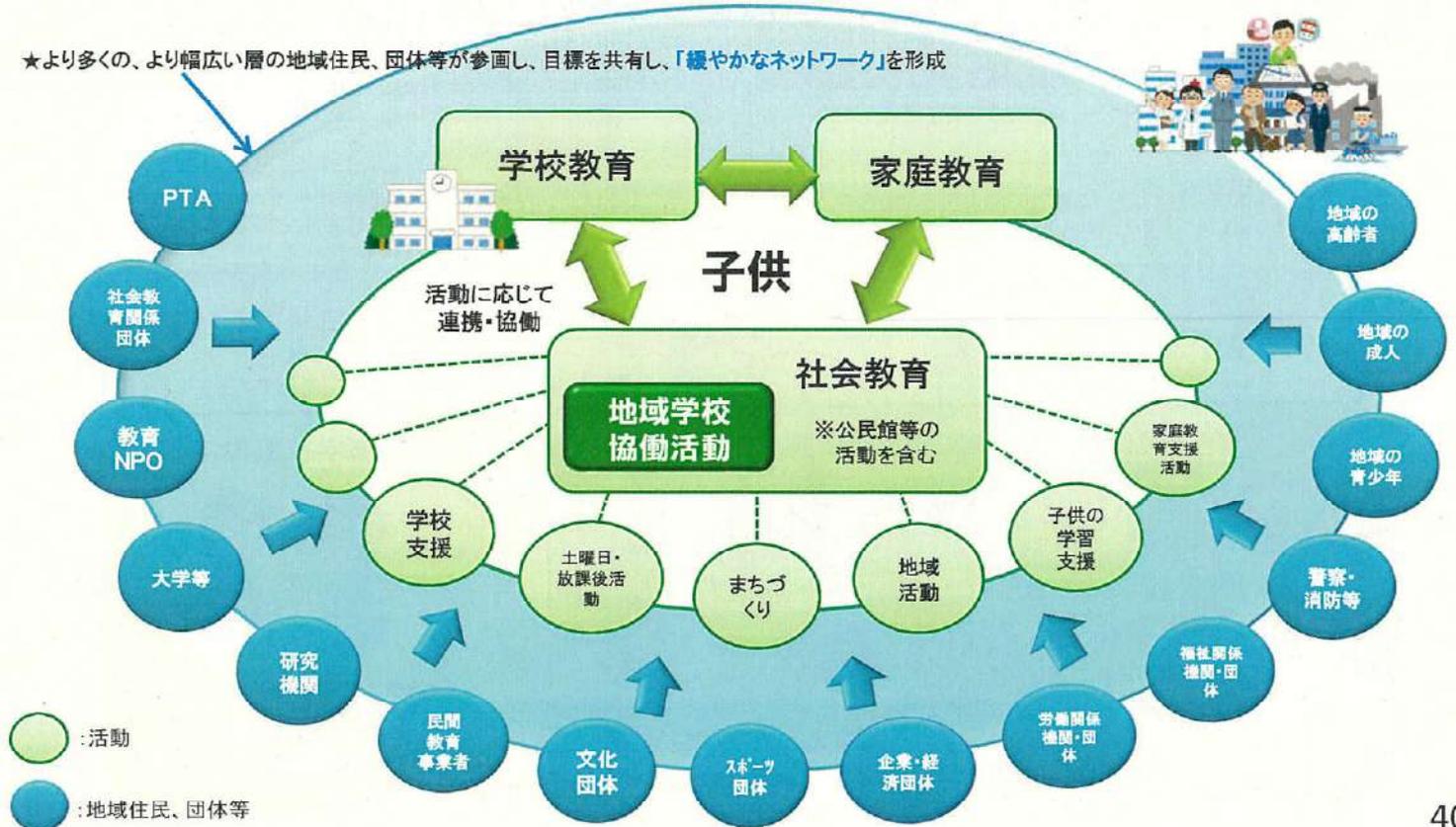
39

2. 地域と学校の連携・協働について —地域学校協働活動

◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。

◎ 従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



40

2. 地域と学校の連携・協働について —地域学校協働活動

- 「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして行う様々な活動 **「社会に開かれた教育課程」の実現**
- 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が連携・協働
- 社会教育法第5条第2項に定める地域住民等と学校が協働して行う活動（第5条第1項第十三号～第十五号に規定する活動）

地域学校協働活動

○ **学校の授業の終了後、休日の学習及びその他の活動**

放課後等の学習支援・体験活動等
(放課後子供教室・地域未来塾等)

地域資源を活用した授業づくり
(地域産業の職場体験学習、自然体験学習、地域課題解決型学習、キャリア教育等)

○ **ボランティア活動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動**

学びによるまちづくり
(防災・環境・伝統文化・地域活性化等)

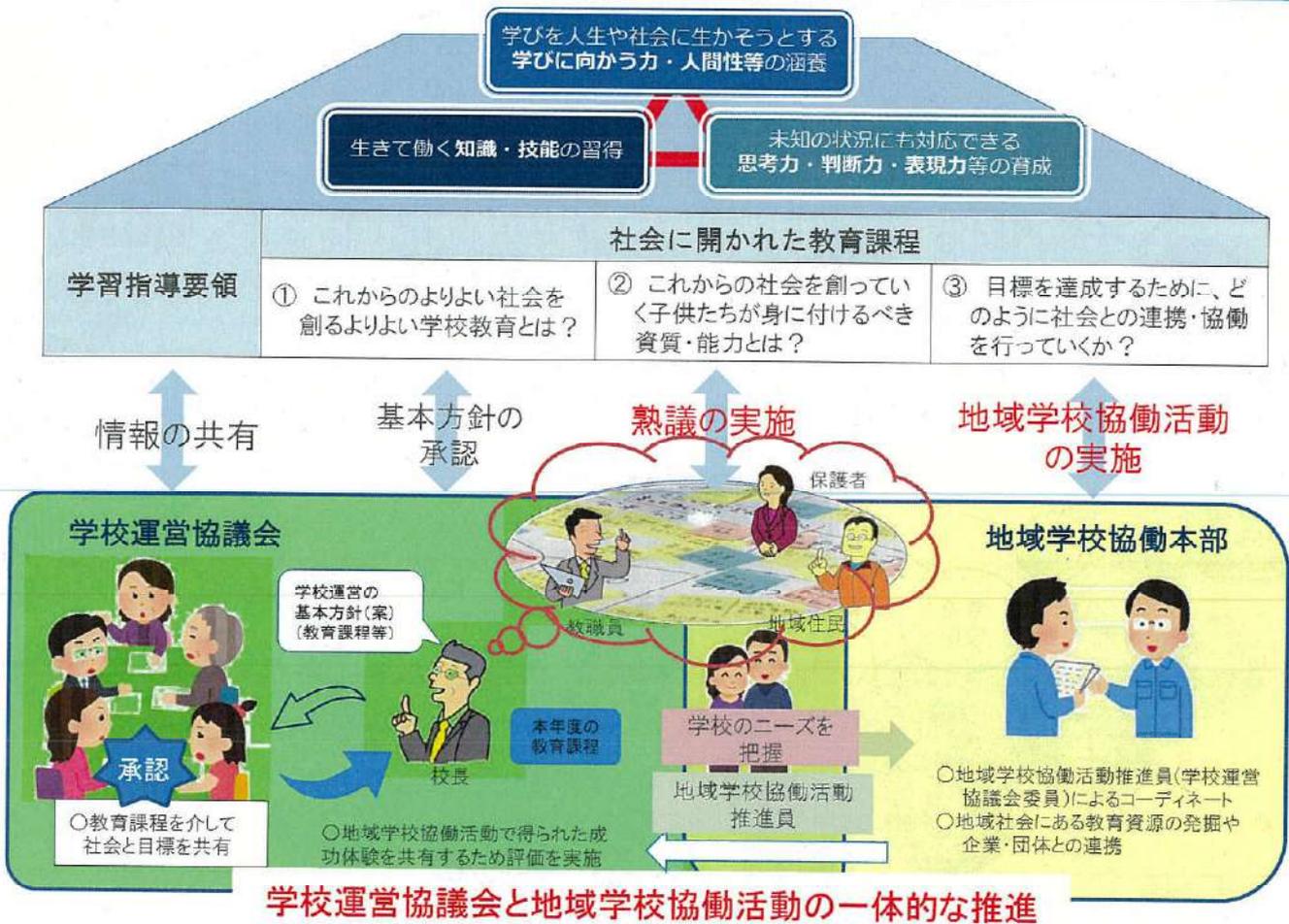
○ **社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用する活動**

家庭教育支援活動
(保護者が学び合う機会づくり)

○ **学校に対する多様な協力活動**
(防犯の見守り・本の読み聞かせ・学校環境整備・企業の出前授業等)

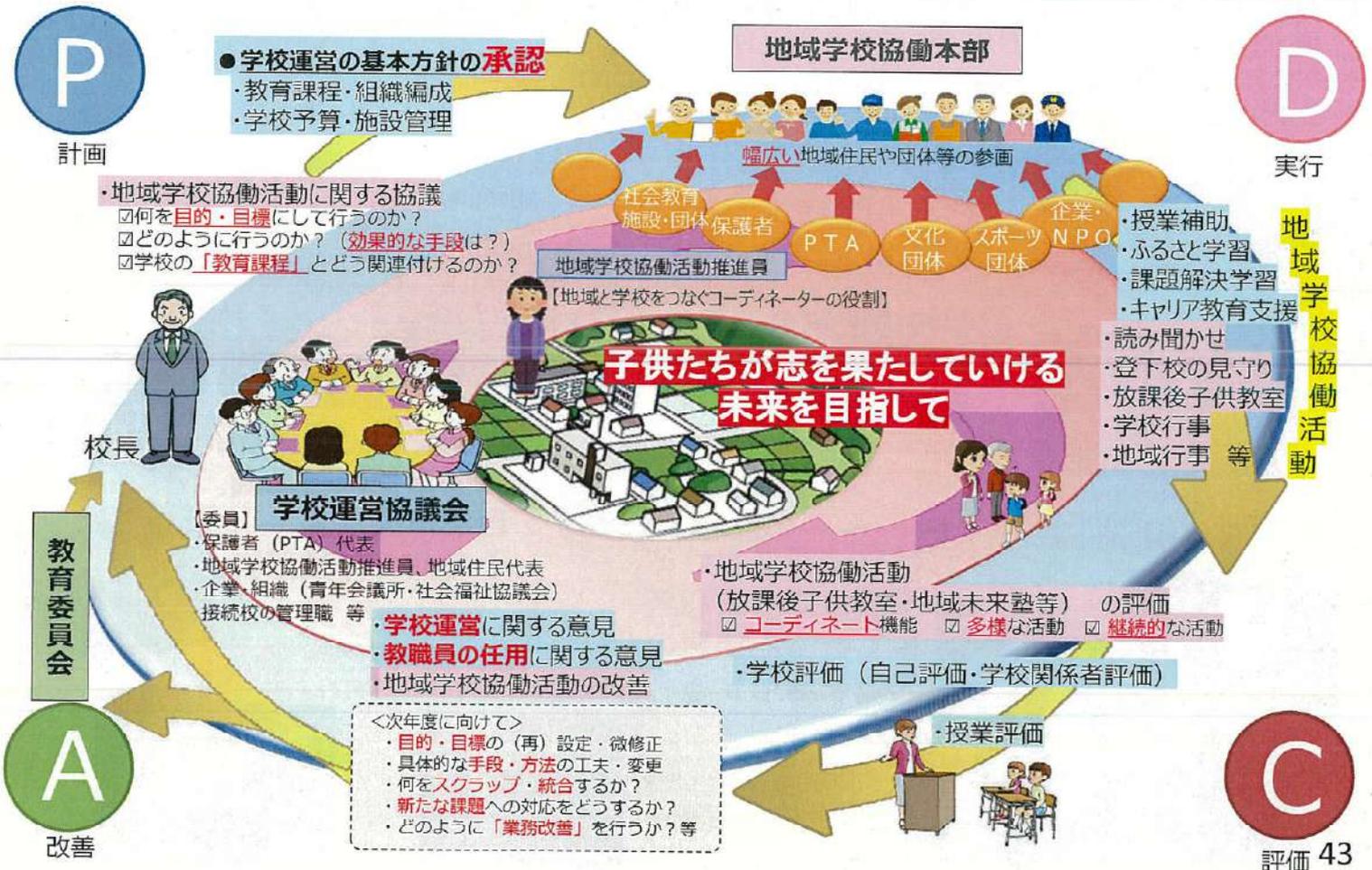
41

2. 地域と学校の連携・協働について ー社会に開かれた教育課程の実現



42

2. 地域と学校の連携・協働 ーコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



43

2. 地域と学校の連携・協働 ―コミュニティ・スクール（学校への効果）

学校運営協議会の果たす役割

～山口県美祢市立綾木小学校～



コミュニティ・スクール以前の課題（まなび）



さまざまな体験活動を実施していたが・・・

- 児童は、やっているだけ、してもらう感の強さ（お客様）
- 単発的な学校行事として行っていた
 - ・ 目的意識の弱さ
 - ・ 計画性をもった、探求的な活動になっていなかった
- 児童に関わる地域の方が限られていた

44

2. 地域と学校の連携・協働 ―コミュニティ・スクール（学校への効果）

学校運営協議会の果たす役割

～山口県美祢市立綾木小学校～



コミュニティ・スクール4年間の成果（まなび）



地域カリキュラムを美東中学校区（みとうこぶっちゃんネット）として作成

- 児童は、**目的意識**を持ち、**自ら関わる姿**となる
- 「綾木学」を6年間を通して、**計画的**に学ぶことができる
- **本物**を学ぶことにより、生き生き真剣に取り組むが輝く
- **自分の言葉**で、学習の成果を語り、書くことができる
- 「**ふるさとが好き**」「**地域の行事への積極的な参加**」の増加
- 行事だけでなく、幅広い地域の方の参画が増えた

45

2. 地域と学校の連携・協働 —コミュニティ・スクールの効果

コミュニティ・スクールの取組がもたらす効果 ～校長の成果認識より～

学校運営協議会や熟議の実施を通して、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという「**目標**」や「**ビジョン**」を共有し、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことで、**子供たちの学力向上**、**生徒指導上の課題解決**、**教職員の意識改革**・**業務改善**など、学校運営に関する様々な効果が表れている。

子供たちへの効果

学校（教職員）への効果

地域（住民）への効果



出典「コミュニティ・スクールの実態と校長の意識に関する調査」（平成27年度文部科学省委託調査） ※指定校（1,919校）の校長に対する認識調査（回収率81%）

2. 地域と学校の連携・協働 —コミュニティ・スクール

子供たちへの効果

「子供たちの力を伸ばす」コミュニティ・スクールの取組（山口県）

コミュニティ・スクールの導入により、保護者・地域住民の**来校者数が大幅に増加**。保護者・地域住民との関わりを通して、子供たちの**自己肯定感や豊かな心が育成される**とともに、**教師の授業力が向上**し、落ち着いた環境の中で学習に取り組むことができている。

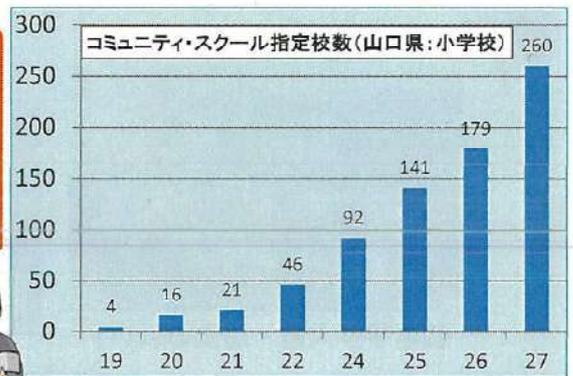
学校運営 ユニット型研修（授業研究）

学校運営協議会委員をメンバーに加えたユニットで授業参観を実施。1時間の授業について、教員と保護者・地域の方々が**授業改善について真剣に語り合える**ようになり、教員の授業力向上・生徒の学力向上に結びついている。



放課後の授業研究会では、学校運営協議会委員もユニットの一人として意見を述べている

子供たちの
学力が向上した
37.4%



学校の変化

- ▶ 授業参観（授業を見ていただく）回数の増加
- ▶ 地域の特性を生かした授業の実施

学習支援

王司村塾（下関市立王司小）

希望者を対象に、毎週水曜日の放課後に学校内で開催。子供たちは、地域のボランティアの方に、苦手なところやわからないところをマンツーマンで教えてもらっている。



児童の感想

- 補充学習に参加し、地域の方に教えていただくことで、**勉強が楽しい**と思えるようになった。
- 地域の方と話をしている中いろいろなことが聞けるので**知識が増えてうれしい**。



授業力の向上

全国学力・学習状況調査

国語Bが大幅に上昇

自己肯定感の高まり



保護者・地域住民と**ビジョン**や**目標**を共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」

2. 地域と学校の連携・協働 —コミュニティ・スクールの効果

生徒指導上の課題解決に向けた取組

～年度別不登校児童生徒(欠席累計日数30日以上)出現の状況(北海道登別市)～

学校への効果

コミュニティ・スクールの導入を契機に、保護者・地域住民を含めたチームとして不登校対策に着手。小学校低学年時点からの根気強いアプローチや初期対応等により、**新たな不登校の発生を抑えることができています。**

地域と連携した取組が組織的に行えるようになった

79.3%

(登別市)不登校児童・生徒数

平成28年9月末現在

	CS導入前			CS導入後		
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
小学校(人)	6	7	8	5	4	0
中学校(人)	30	26	25	23	22	18
合計(人)	36	33	33	28	26	18

■三者の協力体制による適切な対応によって、不登校の発生を抑えることができています。

★学校運営協議会内で情報を共有

→教育委員会との連携 + 学校と地域(民生委員等)との連携・協働

★不登校対策チームの設置

→適切な**初期対応**が可能
→本人への適切なケア、**家庭へのアプローチ**が可能に

生徒指導上の課題が解決した

38.5%



これまで学校は、教育委員会に報告・相談を行い、対策を講じてきた。

保護者・地域住民と**ビジョン**や**目標**を共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」

48

2. 地域と学校の連携・協働 —コミュニティ・スクールの効果

情報不足による誤解が減り、「苦情」の電話も少なく

学校への効果

コミュニティ・スクールの導入により、保護者・地域住民と課題を共有し、同じベクトルで解決に向けた取組を進めることができるようになった。

その結果、「学校での子供たち」、「地域での子供たち」、それぞれの様子について**情報共有**が図られるようになり、**情報不足による誤解を減らすことができています。**

コミュニティ・スクール導入

- ★学校運営協議会内での**情報共有**
- ★頻繁な交流により、**一人一人の顔がわかる関係**(生徒⇔地域住民)

保護者地域からの苦情が減った

43.7%

ご迷惑をおかけしまして、大変申し訳ありません。学校でもしっかり指導しますが、お宅はどの辺りですか？

おたくの学校の生徒が、お菓子を食べながら帰っていて、いつも私の家の前にゴミを捨てると言ってきたけど、学校はどういう指導をしているの？

【匿名】

地域住民からの**正確な情報提供が増え、同じベクトル**で子供たちに関わることができるようになった。

地域の教育力が上がった

59.4%



保護者・地域住民と**ビジョン**や**目標**を共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」

49

2. 地域と学校の連携・協働 —コミュニティ・スクールの効果

学校・教職員が子供と向き合える時間が増えた

学校への
効果

学校運営協議会からの提案で始まった「地域住民との連携・協働」による取組により、**短時間で効率よく**できることが増え、**教職員が子供たちと向き合う時間が増えている。**



学校図書担当

図書室を使った授業は頻繁に行っているのですが、昨年、学校の統合があり、**図書館の蔵書**が山積みになっています。それらを整理する時間がなくて困っているのですが・・・

地域が学校に協力的になった

85.1%

子供と向き合える時間が増えた

17.0%

この町内には、本が大好きな方がたくさんいらっしゃいます。婦人会を通して、**人集めをしましょう**。また、もしよかったら、子供たちに「新刊本の紹介」や「読み聞かせ」もできると思いますよ。



委員：婦人会代表



教頭

今年度商工会の会合があって、この町の会社の担当が全員集まるよ。議題にしてもらい、会社に協力をお願いしてみよう。**子供たちの応援団**を開拓していきましょう！



委員：商工会代表



保護者・地域住民と**ビジョンや目標を共有**し、地域と一体となって子供たちを育む「**地域とともにある学校**」

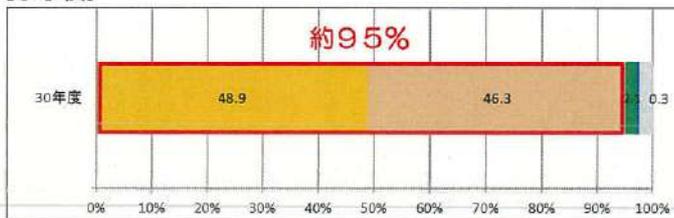
50

2. 地域と学校の連携・協働 —地域学校協働活動の効果

◆ 保護者や地域住民との協働による取組は、**学校の教育水準の向上**に効果があると思う学校は約9割にのぼる。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他、無回答

【小学校】



【中学校】



◆ 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして保護者や地域の人との協働による活動を行ったほど、**学校の教育水準の向上**に効果があったと考える割合が高い。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他、無回答

【小学校】



【中学校】



(平成30年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査)

51

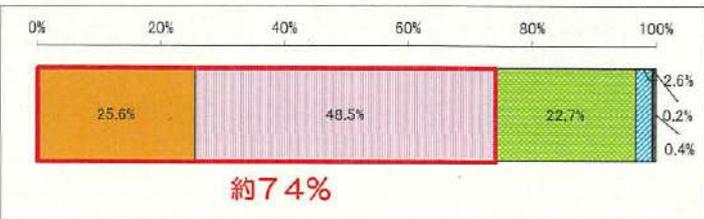
2. 地域と学校の連携・協働 — 地域学校協働活動の効果

地域への効果

◆実際に本部事業に参加して見て、地域住民が学校を支援することにより、**地域の教育力が向上し、地域の活性化**につながった



◆実際に本部事業に参加して見て、地域住民の**生きがいづくりや自己実現**につながった。



(「平成27年度地域学校協働活動の実施状況アンケート調査」文部科学省・国立教育政策研究所。上記は学校を対象とする調査結果。)

子供たちへの効果

◆実際に本部事業に参加して見て、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、**コミュニケーション能力の向上**につながった。



◆実際に本部事業に参加して見て、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、**地域への理解・関心が深まった**。

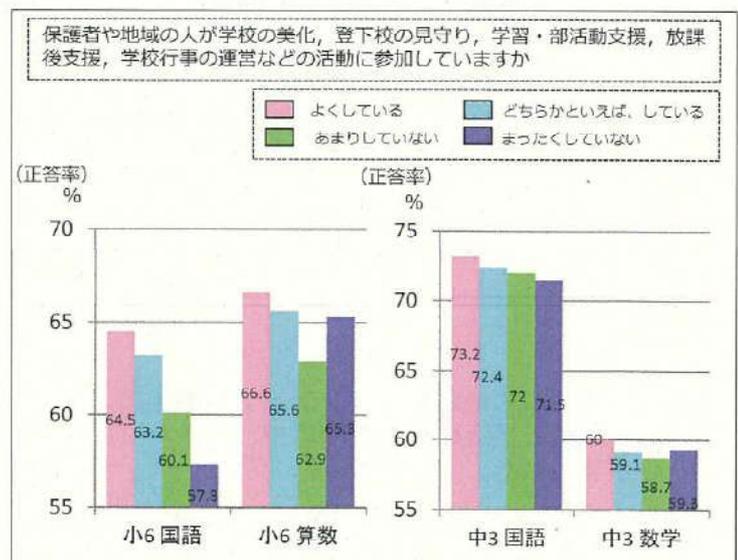
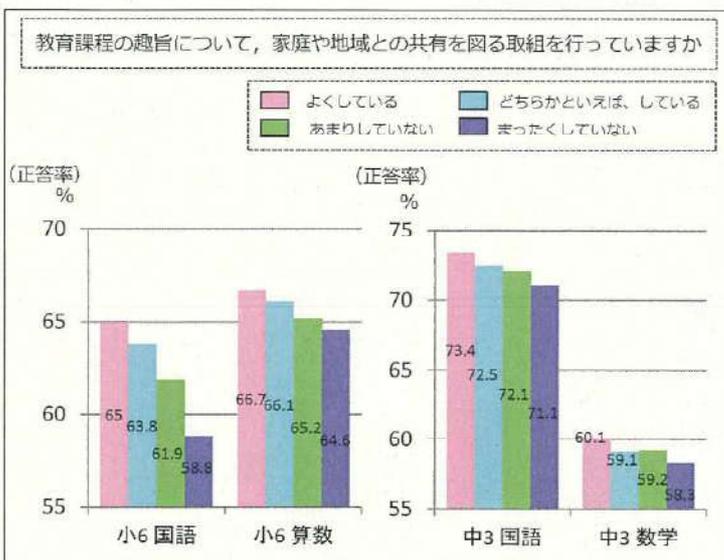


(「平成27年度地域学校協働活動の実施状況アンケート調査」文部科学省・国立教育政策研究所。上記は学校を対象とする調査結果。)

2. 地域と学校の連携・協働 — 地域学校協働活動の効果

地域学校協働活動による効果 (H31 全国学力学習状況調査より)

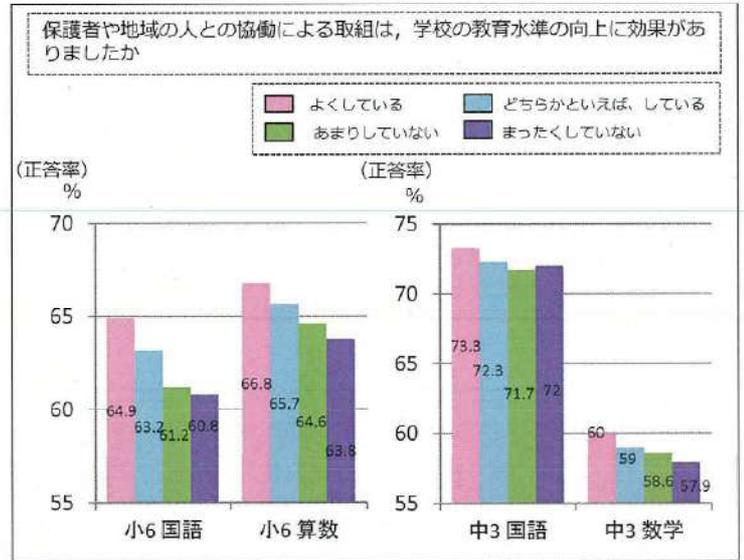
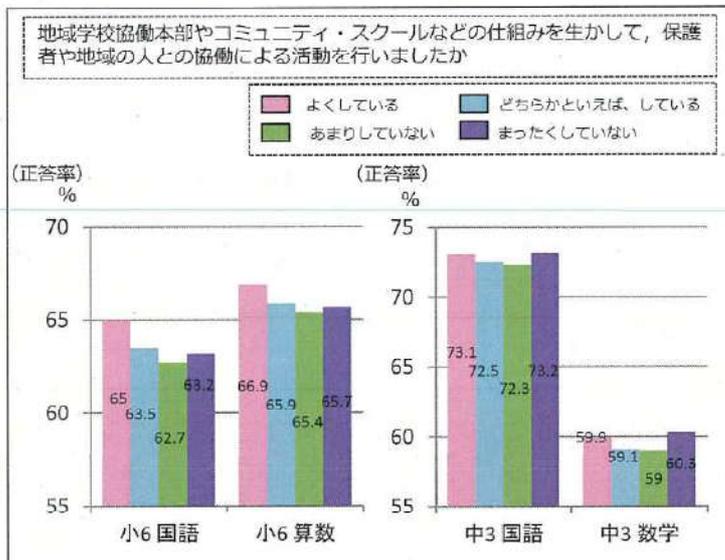
- 以下の設問について肯定的に回答している学校では、特に国語に関して平均正答率が高い傾向がみられる。
 - 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組をしている。
 - 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している。



2. 地域と学校の連携・協働 —地域学校協働活動の効果

地域学校協働活動による効果（H31全国学力学習状況調査より）

- 以下の設問について肯定的に回答している学校では、特に国語に関して平均正答率が高い傾向がみられる。
- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか
 - 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



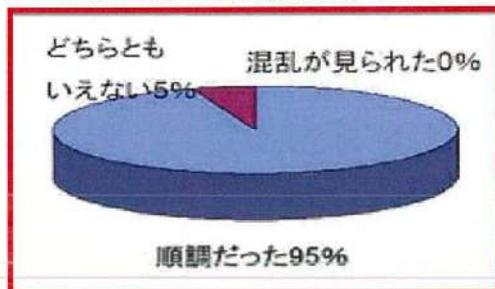
出典：平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 調査結果より

2. 地域と学校の連携・協働 —地域学校協働活動の効果

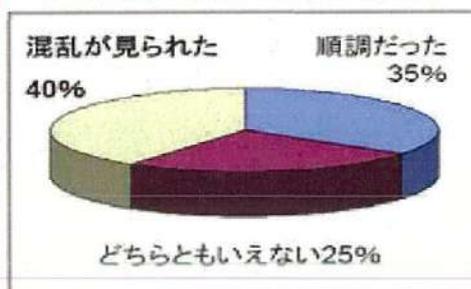
震災時における地域学校協働活動等の効果

- ◆ 東日本大震災時、避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか。（校長）（宮城県）

（学校支援地域本部設置20校）



（学校支援地域本部未設置20校）

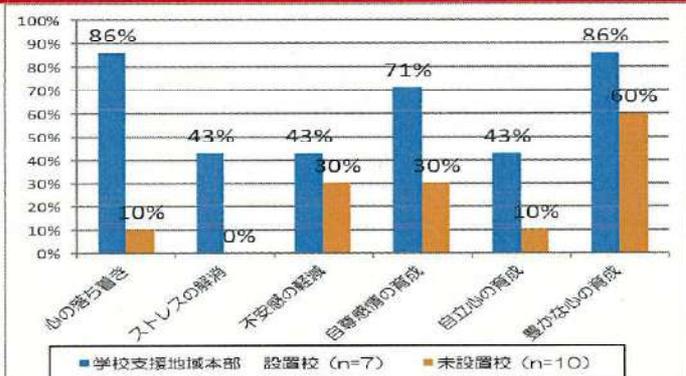


（東日本大震災後の宮城県内の小中学校校長40名へのアンケート調査：文部科学省調べ）

- ◆ 平成28年熊本地震における地域学校協働本部（学校支援地域本部）の設置による被災後の効果

平成28年熊本地震時においても、学校支援地域本部設置校では、地域住民、学校教職員、児童生徒の結束力が高まっていたため、避難所の運営がスムーズであったとの声を聞いている。（熊本県教育委員会へのヒアリングより：文部科学省調べ）

- ◆ 地震後の地域のボランティア等と連携・協働（学校支援活動）した取組で、子供たちに変化が見られた。



（熊本地震後で震央となった益城町と周辺6町村の小中学校18校へのアンケート調査：文部科学省調べ）

3. 変わり続ける未来に向かって



3. 変わり続ける未来に向かって ー岐阜県教育の基本的な考え方

岐阜県教育の**基本的な考え方**

ふるさとに誇りをもち、「清流の国ぎふ」を担う子どもたちの育成

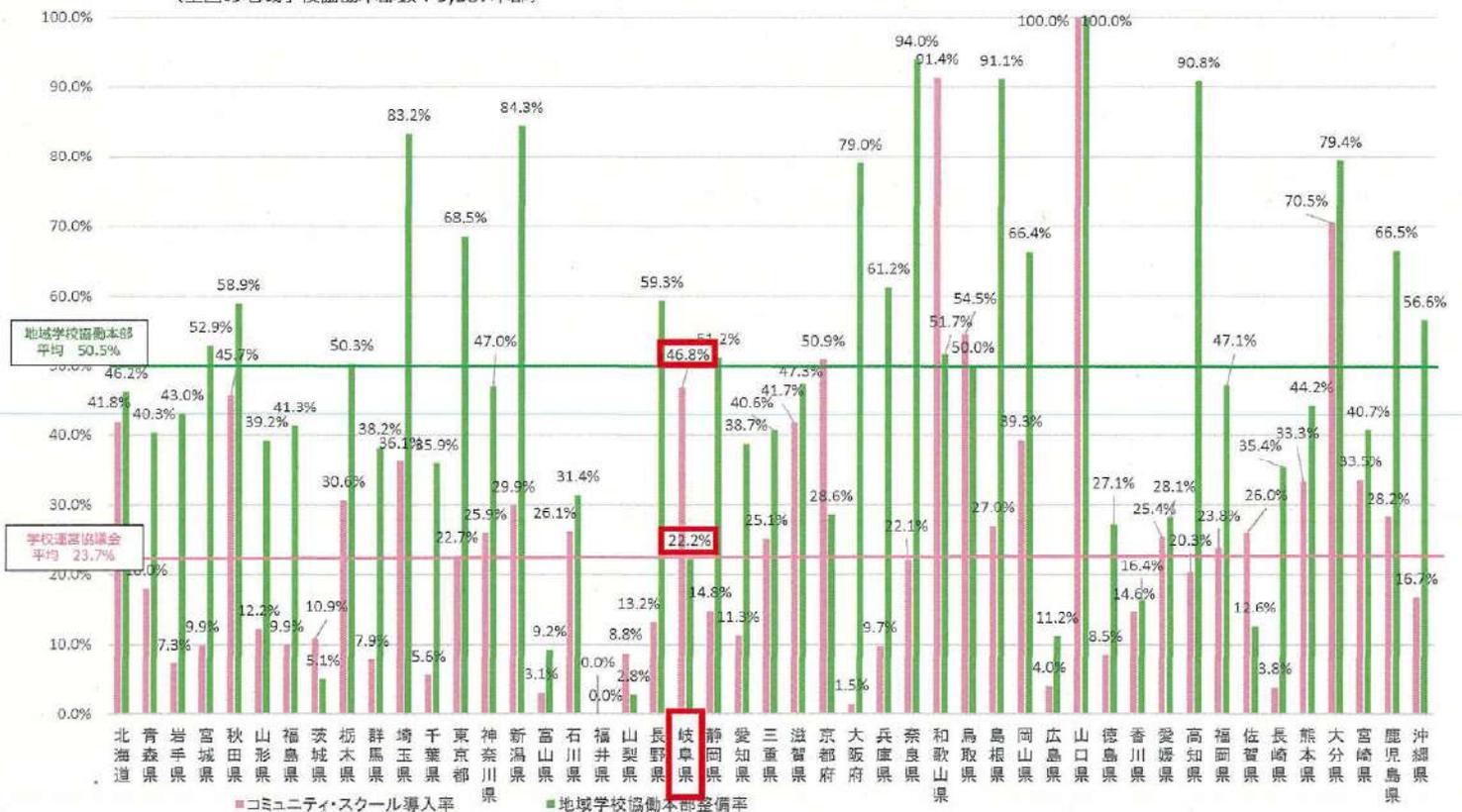
世界的な視野をもち、地域社会の活性化に貢献する「地域社会人」

- 県では、予測困難な問題に対応するため、**主体的に学び、自分で将来を切り拓く「自立」の力**に加え、人と自然とのつながりや、**人と人とのつながりを実感**しつつ、多様性の中で生き、**自らの役割と責任を果たしていく「共生」の力**をはぐくみ、子どもたちが自らの可能性に挑戦し、**地域や社会に貢献できる「自己実現」の力**を身に付け、これらの**「3つの力(自立力・共生力・自己実現力)」**の融合により、世界的な視野をもち、新しいことにチャレンジし、それぞれの夢に向かって頑張ることができる教育を推進していきます。

3. 変わり続ける未来に向かって ー岐阜県における実施状況

コミュニティ・スクールの導入率と地域学校協働本部の整備率（都道府県別）

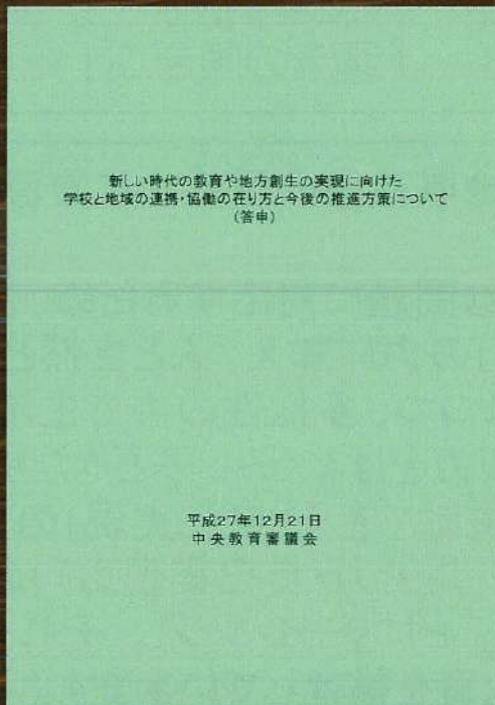
学校運営協議会制度を導入している公立小・中・義務教育学校数：6,767校（小学校：4,618校、中学校：2,099校、義務教育学校：50校）
 地域学校協働本部が整備されている公立小・中・義務教育学校数：14,390校（小学校：9,843校、中学校：4,499校、義務教育学校：48校）
 （全国の地域学校協働本部数：9,387本部）



3. 変わり続ける未来に向かって ー中央教育審議会答申

学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(中央教育審議会答申)

もう4年も前の答申になりますが、今だからこそご覧いただきたいと思います。



おわりに

今後の整備・発展が望まれる様々な体制において、一体的・効果的に機能を発揮する上で重要なことは、「地域でどのような子供たちを育てていくのか、どのような地域を創っていくのか」という**ビジョン**であり、それを創り上げていく**プロセス**である。

これには、**コミュニティ・スクールや地域学校協働本部**といった特定の体制からの視点だけでなく、そのような体制を包含する「**学校と地域**」がどのように連携・協働していくか、という**大きな視点**が欠かせない。このような視点に立って、**学校と地域がビジョンを共有**した上で、**協働による取組を積み重ね**、**大人も子供も学び続ける社会を共に創っていく必要がある**。



コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入することが目的ではない。「どのような子供たちを育てていくのか」全ての関係者が**ビジョンを共有**すること、**創り上げていくプロセスを大切に**することが重要。

60

誰かが何とかしてくれる、のではなく、
自分たちが「当事者」として、
自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。

子供たちのために学校をよくしたい、元気な地域をつくりたい、
そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、
子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、
これからの未来の姿である。